

授業科目 保健医療福祉連携学III（保健・地域）

【担当教員名】 丸山 敬子 他	対象学年	3	対象学科	理学・作業・言語・義肢・健栄・スポ・社会・看護・情報
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【概要・一般目標：G10】
 <概要>
 現代社会においては、地域で生活する生活者の視点で保健、医療、福祉、教育を考えていくことが求められている。特に、日々の生活におけるQOLを高めるためには、各世代におけるライフステージに応じた健康増進プログラムの立案と、それを支えるヘルスプロモーションを保健師、管理栄養士、健康運動指導士、理学療法士などの職種が連携して行なうことが求められる。この職種間連携について本講義では学習する。
 <G10>
 子どもの健康教育、生活習慣病予防、転倒予防など、ライフステージに応じたプログラムを立案することにより、各職種の独自性と連携の関係を理解する。

- 【学習目標】
1. 自らの職種の専門性や特徴を述べるができる。
 2. 他職種の専門性や特徴を指摘することができる。
 3. 対象者のニーズを踏まえた上でアセスメントできる。
 4. 他職種と連携して、対象者に適した健康増進プログラムを立案できる。
 5. わかりやすくプレゼンテーションすることができる。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション（学習目標、授業内容説明）、アイスブレイキング	1, 2	演習
2	対象者情報の収集とアセスメント	3	演習
3	対象者に適した健康増進プログラムを他職種と討議して立案（第1回）	2-4	演習
4	対象者に適した健康増進プログラムを他職種と討議して立案（第2回）	2-4	演習
5	対象者に適した健康増進プログラムを他職種と討議して立案（第3回）	2-4	演習
6	プレゼンテーション準備	5	演習
7	プレゼンテーション準備	5	演習
8	プレゼンテーション、まとめ	5	演習

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書				
その他の資料	毎回の資料は学内LANにアップロードする。			

【評価方法】 出席状況、グループ活動への参加、プレゼンテーションへの貢献、レポートで総合的に評価する。	【履修上の留意点】
--	-----------